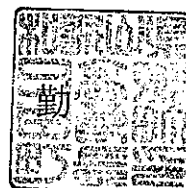


由産建第61号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 殿

由良町長 中井



中期的な計画の作成に当たっての意見書の提出について

平素は当地域の道路整備の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご依頼のありました、中期的な計画に当たっての意見を下記のとおり提出いたしますのでよろしくお願ひします。

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - 生活基盤と産業基盤の確立に伴う道路整備政策
 - 南海・東南海地震、津波等の防災道路対策
2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - 新しく道路を施行する際、その区間の現状と将来計画に鑑みて幅員構成を見通し、新たに必要とされる右折溜まりや交差点の拡幅については十分な容量をもたせるが、不必要と考えられる植樹帯、停車帯や広すぎる歩道を必要最小限に絞って全体的に事業費を低く抑え、早期供用ができるようにする。
 - 地域の実情に応じた幅員構成により、事業の効率化を図る。
3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
 - 当町の議会も平成18年6月に衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣あてに「道路整備の促進と道路特定財源の堅持等に関する意見書」を提出していますが、道路は、町民生活、社会活動をする上において最も大切な社会

資本であり、その整備は長年にわたり熱望してきたところでもあります。そのためにも道路特定財源を堅持して道路整備に使用されるよう強く要望します。

○ 近畿自動車道紀勢線の整備

近畿自動車道紀勢線は京阪都市圏との時間短縮や一般国道42号線の渋滞解消を図り、産業や観光の振興と発展に寄与する「自立の道」として、東南海地震等、大規模な災害時の緊急輸送路や代替路の役割を果たす、「命の道」として早期完成が期待されます。

なかでも、みなべ田辺間が本年中に供用開始を予定されており、更なる南進に向けた整備が望まれています。

○ 一般国道42号線の整備

一般国道42号線は、由良町民の生活基盤として、また、周辺地域との連絡道路や産業流通道路、紀伊半島の主要幹線道路としての役割を担ってきておりますが、高速道路の南進に伴い当町においては幾分交通渋滞が緩和されましたが、広川町由良町間において交通渋滞が発生しており、特に水越トンネル付近において、道路が矮小化し、カーブ等が多く、車の渋滞が起こっているような現状です。そのためにも、広川町から由良町間の局部改良事業を早期に実施していただきたい。

○ その他

由良町は、一次産業の農業や漁業を基幹産業としていますが、農村工業導入促進法により(株)ハルテック、(株)M E S 由良(三井造船)が進出しており、工業関係や観光事業にも県道(御坊湯浅線及び御坊由良線)の改良及び町道の基幹道路である町道①-3号線等の改良等が急務であります。

そのためにも、道路財源を確保していただきたくお願いする次第であります。